

長野県植物誌補遺

長野県産ミズゴケ類 (*Sphagnum* L.) 143-160 頁の追加、訂正

松田 行雄 *

はじめに

植物誌では 1954 から 1994 年の採集品や寄贈標本をもとに、2 種以上生育する 201 湿原とそこに生育する 32 種のミズゴケ類を報告した。その後も調査を継続し、2 種以上生育する 32 湿原と、日本初となる仮称ホソバミズゴケモドキの生育が確認できたので、2010 年までの記録を整理し報告する。

尚、1994 年から 2010 年の間、環境省はオオミズゴケを絶滅危惧 I 類とし、県¹⁾はミズゴケ全種を絶滅危惧種として 2005 年に指定している。

報告は、1. 日本初記録となる仮称ホソバミズゴケモドキと生育地。2. 植物誌の訂正。3. 植物誌への追加。1) 2 種以上のミズゴケ類を確認した湿原と種類。2) ミズゴケが 1 種類のみ生育する湿地・湿原。

調査結果

1. 日本初記録となる *Sphagnum rubiginosum* Kjell Flatberg (仮称ホソバミズゴケモドキ)

種は、K.Flatberg²⁾によって 1993 年 (Sect. *Acutifolia*) 発表された。この種が発表される以前はホソバミズゴケとして扱われてきた。しかし彼は開出枝が 3 本以上で、茎葉の幅がホソバミズゴケの 1/2 以下などの違いから独立種として発表した。

筆者は手持ちのカムチャッカ・サハリンの *S. girgensohnii* (ホソバミズゴケ) の標本 20 包のうち 14 包み、国内の北海道から屋久島産の標本 966 包のうち 752 包みを K.Flatberg の記載に沿って検討したところ該当標本が見つかり、浅田太郎氏に確認して頂き、発表者の K.Flatberg 博士に同定をお願いした。2010 年 12 月、日本からは初記録のホソバミズゴケモドキであると連絡を頂いた。

K.Flatberg 博士の同定からホソバミズゴケモドキの生育地は長野県南部と中部の一部からで、生育地点は霧のかかる溪谷の林床に生育していた。確認された生育地は下記の地点である。

下伊那郡上村北俣沢神の石 (海拔 700 m) 標本

番号 1206.

諏訪郡富士見町入笠山 (海拔 1,720 m) cf. 標本番号 2129.

諏訪郡原村立場川 (海拔約 1,250 ~ 1,300 m) 標本番号 13389. (横内文人氏寄贈標本)

木曽郡田立村田立の滝 (海拔 1,560 m) 標本番号 6313.

木曽郡王滝村うぐい川 (海拔約 1,250 ~ 1,300 m) 標本番号 10932.

木曽郡王滝村三浦ダム (海拔 1,340 m) 標本番号 10879.

木曽郡王滝村白巣峠 (海拔約 1,200 m) cf. 標本番号 10876.

大町市湯俣川 (海拔約 1,500 m) 標本番号 2301.

(ホソバミズゴケモドキの詳細については浅田太郎博士と連名で専門書へ投稿予定である)。

県外では、滝田⁷⁾の北海道産ミズゴケの論文の中でホソバミズゴケの掲載図にホソバミズゴケモドキに似た茎葉をもつ種がヘルプナイ林道 (48 頁) から記録されている。従って他の地域からも検出される可能性はある。

2. 植物誌の訂正 (下線は訂正箇所、追加又は削除種)

[植物誌の湿原と種の記載は ①(湿原記載の順番), 茶臼山溜池 (湿原名) 1260 m (海拔), 4・6・14 (オオミズゴケ・ウロコミズゴケ・ホソバミズゴケの略記号) の順]。

② 釣鐘山荘前 1720 m, 33 (ホソバミズゴケモドキ) 追加。

③ 白駒の池 2130 m, 20 (ゴレツミズゴケ) 追加。

④ 麦草峠 2130 m, 20 (ゴレツミズゴケ) 追加。

④ 踊場 1540 m, 11 (ネジレミズゴケ) 追加。

④ 田立の滝 1100 ~ 1400 m, 33 (ホソバミズゴケモドキ) 追加。

⑦ うぐい川 1100 ~ 1300 m, 33 (ホソバミズゴケモドキ) 追加。

⑥ 三浦ダム 1300 m, 33 (ホソバミズゴケモドキ) 追加。

⑥ 馬橋 1250 m, 調査地訂正。

* 松田 行雄 〒390-0802 長野県松本市旭 1-9-13

- ⑧ 須砂渡 820 m, 31 を削除し、9 とする。
 ⑨ 八坂・唐花見 920 m, 2 (イボミズゴケ) 追加。
 ⑩ 赤沼平 (女神湖) 1535 m, 2 (イボミズゴケ) 追加。
 ⑪ 神の田圃 1720 m, 12 (ユガミミズゴケ) 追加。
 ⑫ 戸隠神社入口 1200 m, 4 (オオミズゴケ) 追加。
 ⑬ 大だるみ 1500 m, 6 (ウロコミズゴケ) 追加。
 ⑭ 野々海 1040 m, 16 (ミヤマミズゴケ) 追加。
 ⑮ 蓮池 1495 m, 27 (ハリミズゴケ) 削除。
 ⑯ ワタスゲ平 1550 m, 17 (ウスベニミズゴケ) 削除。

3. 植物誌への追加

1). 新しく 2 種以上のミズゴケ類の生育を確認した 32 湿原。

湿原の配列は植物誌に準ずる。ほぼ下伊那→上伊那→諏訪→木曽→松本平→長野→上下水内→上下高井→上田・小県→佐久の順 (県境にある隣接他府県湿原を含む)。調査湿原番号は植物誌からの継続の 202 から。植物名は下記学名の数字で略した点は植物誌と同じ。記録内容は植物誌に準ずる (括弧内は出現種数)。

Sphagnum

1. *S. imbricatum* フナガタミズゴケ
2. *S. papillosum* イボミズゴケ
3. *S. magellanicum* ムラサキミズゴケ
4. *S. palustre* オオミズゴケ
5. *S. compactum* キダチミズゴケ
6. *S. squarrosum* ウロコミズゴケ
7. *S. teres* ホソミズゴケ
8. *S. microporum* コアナミズゴケ
9. *S. subobesum* シタミズゴケ
10. *S. guassanense* subsp. *takedae* イトミズゴケ
11. *S. contortum* ネジレミズゴケ
12. *S. subsecundum* ユガミミズゴケ
13. *S. fimbriatum* ヒメミズゴケ
14. *S. girgensohnii* ホソバミズゴケ
15. *S. fuscum* チャミズゴケ
16. *S. russowii* (*yobustum*) ミヤマミズゴケ
17. *S. rubellum* ウスベニミズゴケ
18. *S. warnstorffii* ヒナミズゴケ
19. *S. nemoreum* (*capillaceum*) スギバミズゴケ
20. *S. quinquefarium* ゴレツミズゴケ
21. *S. junghuhnianum* subsp. *pseudomolle* ホソベリミズゴケ
22. *S. subfulvum* ワラミズゴケ

23. *S. lindbergii* フサバミズゴケ
24. *S. riparium* サケバミズゴケ
25. *S. tenellum* ワタミズゴケ
26. *S. jensenii* シナノミズゴケ
27. *S. cuspidatum* ハリミズゴケ
28. *S. pulchrum* ウツクシミズゴケ
29. *S. apiculatum* サンカクミズゴケ
30. *S. acutum* var. *hakusanense* ハクサンミズゴケ
31. *S. amblyphyllum* アオモリミズゴケ
32. *S. angustifolium* コサンカクミズゴケ
33. *S. rubiginosum* 仮 ホソバミズゴケモドキ
(学名前の数字は種名を表し、植物誌の配列に同じ)

下伊那方面；

- ②② 売木村茶臼山 1150 m (2) 4・14。
 ②③ 根羽村茶臼山 1260 m (3) 4・6・14。
 ②④ 阿南町堂沢湖 940 m (2) 4・8。
 ②⑤ 岐阜県恵那山 保古の湖 A 790 m (3) 4・8・27。
 ②⑥ 岐阜県恵那山 保古の湖 B 780 m (2) 2・4。
 ②⑦ 岐阜県恵那山 湿地園 810 m (2) 4・8。

諏訪方面；

- ④② 霧ヶ峰大山牧場下湿原湿原群 1260～1410 m (6) 1・8・9・13・15・22。
 植物誌では湿原群としたが、ゴルフ場が計画され貴重な湿原がなくなる。消滅前の状況を残す。
 ④③ 霧ヶ峰大山牧場上 A 湿原 1380～1410 m (6) 1・8・9・13・15・22。
 ④④ 霧ヶ峰大山牧場西 C 湿原 1350～1380 m (3) 1・3・22。
 ④⑤ 霧ヶ峰大山牧場西 D 湿原 1380 m (4) 1・8・13・22。
 ④⑥ 霧ヶ峰大山牧場西 E 湿原 1320～1340 m (5) 3・4・8・15・22。
 ④⑦ 霧ヶ峰大山牧場西 F 湿原 1250 m (3) 4・8・22。
 ②⑧ 茅野市麦草峠駒鳥の池 2100 m (6) 6・13・14・16・20・22。
 ②⑨ 茅野市麦草峠斧断ちの森 1080 m (3) 6・14・20。
 ②⑩ 茅野市渋川温泉上 1470 m (4) 2・4・13・15。
 ②⑪ 茅野市横岳北凹地 2380 m (2) 14・20。

木曽方面；

- ④⑧ 三岳村瀬戸の原 1300～1500 m (2) 4・20。
 ④⑨ 上松町赤沢 1100 m (4) 4・6・14・20。

- ②14 大桑村阿寺川 880 m (3) 6・14・20。
 ②15 王滝村白巢峠 1200 m (2) 4・33。
 ②16 岐阜県高根町留野原 1300 m (5) 2・13・15・20・22。
 ②17 岐阜県高根町ちんまが池 1380 m (2) 4・22。
 松本平；
 ②18 塩尻市小曾部古池 1650 m (3) 4・13・15。
 ②19 朝日村鉢盛山鉢の池 2300 m (2) 7・14。
 ②20 安曇村乗鞍岳肩 2850 m～白骨温泉 1500 m (2) 6・14。
 ②21 安曇村番所どじょう池 1500 m (3) 4・9・13。
 ②22 堀金村鍋冠山八丁ダルミ～東沢間 1965 m (2) 6・14。
 ②23 美麻村権現山 1140 m (2) 2・9。
 ②24 白馬村佐野坂 810 m (2) 4・9。
 ①15 白馬村八方尾根湿原群 1690 - 2080, 2・5・12・14・20・25・31・32。

湿原群から離れた下記の2地点が調査できたので追加する。

- ①15-2 白馬村八方尾根第二ケルン北斜面 2000 m (9) 5・6・7・12・14・20・25・30・31。
 ①15-3 白馬村八方尾根第二ケルン南斜面 1680～1800 m (4) 2・5・12・31。
 ①32 小谷村梅池自然園 1850-2020 m (10) 2・5・6・7・12・14・16・20・25・31。

自然園は広範囲に湿原が点在している。その中で纏まりある湿原を調査した。

- ①32-2 梅池奥湿原 1920 m (9) 2・4・5・7・14・16・20・25・31。
 ①32-3 梅池南湿原 1850 m (7) 2・5・12・14・16・25・31。
 ②25 小谷村天狗原下 2120 m (4) 2・5・16・31。
 長野・上下水内方面；
 ②26 須坂市米子不動～根子岳間 1500～2000 m (2) 6・14。
 ②27 飯山市開田峠古池 1100 m (4) 4・13・29・31。
 ②28 新潟県苗場山新楽峰⁵⁾ 2000 m (3) 2・5・17。
 ②29 新潟県苗場山小松原⁵⁾ 1600 m (5) 2・5・17・25・31。
 上田・小県・佐久方面；
 ②30 和田村和田峠東餅屋下 1400 m (2) 4・6。
 ②31 立科村雨境 1200 m (2) 4・13。
 ②32 立科村芦田川 1220 m (5) 4・6・8・9・22。
 ②33 立科村芦田川 1300 m (2) 4・22。

2) ミズゴケが1種類のみ生育する湿地・湿原

4. オオミズゴケの生育地：下伊那郡・阿智村大明神原 620 m, 阿智村上郷備中原 500 m, 平谷村餅小屋一m。飯田市山本箱川 600 m。岡谷市今井オデエの池 900 m。木曽郡・大桑村読書阿寺部落 520 m, 王滝村松原一m, 上松町赤沢国有林一m, 南木曽町野尻 660 m, 開田村親水公園 1100 m, 木祖村ワラ原湿原 940 m。塩尻市・御立野公園上溜池 1100 m, 釜之沢 850 m, 曾部南沢一m。北安曇郡・白馬村小田原 750 m, 美麻村新行大原沢 850 m, 美麻村青木平 830 m。長野市飯綱原五味池 1020 m。佐久郡南牧村野辺山県境 1370 m。

確認している生育地は 164 か所。

6. ウロコミズゴケの生育地：下伊那郡阿智村 620 m。上伊那郡宮田村西駒ヶ岳不動の滝 1300 m。木曽郡王滝村樽沢上流名古屋市民休暇村一m。南安曇郡・奈川村境峠下 1350 m, 奈川村庄沢一m, 安曇村安房峠 2200 m, 松本市三才峠 1150 m。東筑摩郡朝日村鉢盛山～鳩胸鞍部 1350 m。下水内郡栄村小赤沢一m。上田市菅平大滝 1330 m。

確認している生育地は 49 か所

7. ホソミズゴケの生育地：木曽郡大桑村阿寺国有林 1200。

確認している生育地は 22 か所

8. コアナミズゴケの生育地：松本市ケイト山東湿地 980 m。山梨県高根町 1320 m。

確認している生育地は 44 か所

9. シタミズゴケの生育地：更級郡大岡村上中山 980 m。新潟県妙高村イモリ池 740 m。

確認している生育地は 71 か所

13. ヒメミズゴケの生育地：南安曇郡安曇村番所東大山荘前 1700 m。北安曇郡白馬村白馬南小学校西山 1500～1600 m。長野市飯綱山伊毛井の池 1910 m。山ノ内町志賀清水 1560 m。新潟県妙高村大倉池 1750 m。新潟県分水町渡部一m。群馬県吾妻草津 1240 m。

確認している生育地は 73 か所

16. ミヤマミズゴケの生育地：大町市双六の池 2350 m。

確認している生育地は 44 か所

19. スギバミズゴケの生育地：小県郡東部町地藏峠 1730 m。

確認している生育地は 9 か所

20. グレツミズゴケの生育地：木曽郡大桑村付知又 1200 m。東筑摩郡麻績村四阿屋山 1130 m。

確認している生育地は 46 か所

22. ワラミズゴケの生育地：東筑摩郡朝日村鳩胸アキンド 1850 m。

確認している生育地は 54 か所

上記以外の種の、確認している生育地は植物誌を参照。

まとめ

1. 県内と県境周辺の湿原や湿地の植生を長年にわたって調査し、その中で湿原を特徴付けるミズゴケ類の生育する湿原や生育するミズゴケ類の種類を、植物誌³⁾や植物地理・分類学会⁴⁾で報告してきた。以後調査を継続し、新たにミズゴケ類が2種以上生育する32湿原を調査し、合計233湿原と各湿原に生育するミズゴケ類を報告する。

2. 生育が確認されたミズゴケ類は33種類(30種2亜種1変種)で、日本産ミズゴケ類の76.7%に当たる。その中には日本初記録の仮称ホソバミズゴケモドキが含まれている。

3. 長野県¹⁾は県内産の全ミズゴケ類を絶滅危惧種として指定した。そこで、今回の報告では、1種類のミズゴケが生育する湿地や湿原と、種類を加えて報告する。

謝辞

補遺をまとめるに当たり、標本の出し入れに協力頂いた長野県環境保全研究所尾関雅章氏、標本の同定を頂いた Kjell Flatberg 博士、同定に労を取られた上、ご指導頂いた浅田太郎博士には深甚な感謝の意を表します。

2005年現在、ミズゴケ類の標本は約11,600包、他の蘚類標本は約5,600包となる。これらの標本は全て私が採集したものでなく、多くの同学の方々からの寄贈標本や同定依頼標本が含まれる。湿原研究にこれらの標本が大変役立っている。協力し支えてくれた方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。失礼と思いますが敬称は略させて頂きお名前のみを紙面で掲載させて頂きます(*印：沢山の資料提供下さった方と地域)。

*浅野一男(下伊那)、浅田太郎、荒金正憲、今

井健樹、海川庄一、*奥原弘人(木曾・全県)、小野庄士、大木正夫、久保田秀夫、小塚堅樹、*佐々木 寧(東北)、佐々木あや子、鈴木 恒、*瀬沼賢一(新潟)、*滝田謙讓(北海道)、竹田政博、田中 茂、楯 誠治、土永浩史、土田勝義、中島徳一郎、中西 正、中山 洵、中村幸人、名取 陽、波田善夫、原田 洋、平林国男、平林昭一郎、藤沢正平、*藤原陸夫(東北)、藤原一繪、降旗剛寛、*本田啓七(富山)、宮脇 昭、持田幸良、矢野悟道、柳 莊一郎、*横内文人(全県)、和田 清。

また、国外の標本を寄贈して頂いた方

浅田太郎(ノルウェー、カナダ)、大木正夫(ロシア)、奥田重俊(西ドイツ)、佐々木 寧(ジャワ島)、佐々木あや子(マレーシア)、中山 洵(カムチャツカ、スイス)、土田勝義(東ネパール)、高橋弘幸(アラスカ)、名取 陽(西イリアン、ボルネオ島、エクアドル)、和田 清(ノルウェー、スウェーデン)の各氏。

尚松田の所持する全標本は長野県環境保全研究所の標本庫へ納めた。

引用文献

- 1) 秋山弘之 2005 ミズゴケ属. 長野県 2005 長野県版レッドデータブック 非維管束植物編・植物群落編 41.
- 2) Flatberg, K.I. 1993 *Sphagnum rubiginosum* (Sect. *Acutifolia*), sp. nov. *Lidbergia* 18:59-70. 松田行雄 1997 ミズゴケ類.
- 3) 長野県植物誌編纂委員会 長野県植物誌 143-160. 信濃毎日新聞社.
- 4) 松田行雄 2002 ミズゴケ類の分布と湿原植生 植物地理・分類学会 50-1 1-13
- 5) 瀬沼賢一・山本敬一 1977 苗場山の湿原植生 新潟県の自然 3:191-198.
- 6) 鈴木兵二 1978 所産ミズゴケ類2種以上の湿地湿原目録. 吉岡邦二博士追悼植物生態論集. 234-245. 東北植物生態談話会, 仙台
- 7) 滝田謙讓 1999 北海道におけるミズゴケの分布及びその変異について 北海道大学農学部植物園